

家族支援ワークショップのススメ

将来に備えて・・・
一緒に体験してみませんか？

家族支援ってなに？

全日本手をつなぐ育成会が開発した学習会です。障害のある子ども親もきょうだいも、皆が自分らしく暮らしていけるといいね・・・それをワークショップ（参加型学習会）で考えてみます。

スライドを見て聴いて、家族にも支援が必要なことを学びます。体験や考えや思いを出し合って、自分の気持ちを見つめたり、コミュニケーションや子どもとの距離を見直したり、親子のライフプランを書いて将来を考えたりします。ワークショップって不思議・・・何かに気付いて、元気が出ます。

ワークショップに行ってきたよ～

和気あいあいと参加できて良かった。

自分を客観的に見ることができた。

その時どきの感情に、理由づけができて、納得もできた気がする。

自分と違う考え方を聞いて「こういうのもありだな」「あと何年後か私も」と気付けた。

あなたの地区で・グループで
開催しませんか？



このワークショップは、体験してみると良く分かります。

未体験の地区の皆さん、まんま隊が、ワークショップ企画・ファシリテーター（進行役）の派遣などお手伝いします。『やって良かった！』ときっと思えますよ。

私たち「まんま隊」をよろしく！

家族支援プロジェクトちば実行委員会では長すぎるので「まんま隊」という名前をつけました。そのまま、ありのまま、お母さん、おいしいご飯・・・など、いろいろな意味を込めています。

まんま隊メンバー（県内の有志です。）

県 平野緑・村山園・浜本真知子（市川） / 澁川彰子（松戸） /
赤津保子・富樫強子（船橋） / 神恵美子（習志野） / 染谷映子（流山）
千葉市 久保田美也子 島田貴美代 長谷川悦子 諸星勝代

連絡先 県育成会 043-246-2181 千葉市育成会 043-206-4050

<http://chi-ikuseikai.com/>

<http://houjin-chibacity-ikuseikai.jp/index.php?ikuseikai>



ワークショップは このように進めます

例えば こんなプログラムで

- 5分 ワークの進め方 守るべきルール
- 20分 なりきり他己紹介
- 40分 学習プログラム「家族にも支援が必要です」
- 40分 親子関係チェックシート①と②
昼食・休憩
- 20分 学習プログラム「自分の気持ちを見ることは大切です」
- 20分 花びらのワーク
- 50分 ライフビジョン・ライフプランシート
- 20分 質疑応答・感想。終りのワーク。

＜家族のあゆみと次のステップ＞
ターニングポイントは4つ

1. 障害がわかったとき…乳幼児期しんどいのは障害？それとも子育て？
2. 学齢期
子どもの自我の発見、子離れの練習、諦めすぎず、期待しすぎず
3. 学校を卒業するころ
本人はどう暮らしたい？思い…
4. 成人した子どもが…

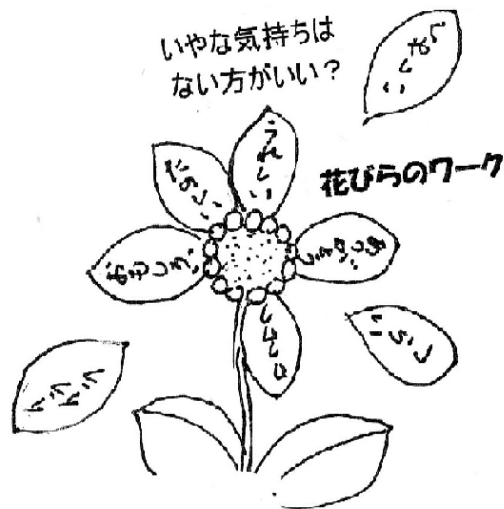
スライドを使い、
なぜ家族にも支援が必要なのかを解説していきます

プログラムは、
参加者世代・日程に合わせて
組み替えます。

チェックシート①

1. 家族で外出に行きました。本人が食べる物をどのようにして決めていま
 - ア. 本人が選び、本人が注文する
 - イ. 本人が選び、家族が注文する
 - ウ. 本人に家族の勤めるものを選びさせるようにし、本人が注文する
 - エ. 本人に家族の勤めるもの
 - オ. 本人の意見は聞かず、
 - カ. その他：
2. 子どもの洋服をどのようにし
 - ア. 本人が選び、本人が（
 - イ. 本人が選び、家族が買
 - ウ. 本人に家族の勤めるもの
 - エ. 本人に家族の勤めるもの

日常生活での子どもとの
関わり方を点検してみる
ものです。



ライフビジョン シート

社会資源	現在の状況	これからの見通し
① 住む (入所・ひとり暮らし・GH・CH・在宅など)		
② 働く・生きがい作り (学校・日中活動の場など)		
③ 余暇・社会参加 (放課後・休日など)		
④ 所得保障		

書き込んだことについて
話し合ってみます。

まんま隊



★ワークショップの目的★

- 家族支援の必要性を理解する。
- 気持ちやコミュニケーションの重要性を理解する。
- 子どもとの距離を見直し、次の一步を踏み出す。

